



わくわく図書館

中央図書館 ☎63-3359
 火～金曜日9時～19時
 土・日曜日、祝日は18時まで
 江釣子図書館 ☎77-2215
 和賀図書館 ☎72-8307
 ◆休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日)、
 祝日(江釣子・和賀図書館のみ)
 12月28日～1月4日、特別整理期間



おすすめ新着本

<http://www.library-kitakami.jp/>

『天を測る』

今野 敏 / 著
 講談社

世の理は、全て単純な数式で表せる。咸臨丸の太平洋横断、江戸湾海防計画、軍艦建造。論理力で欧米列強を圧倒し、近代日本の船出を陰で支えた英雄、小野友五郎の物語。



『感染症ってなんだろう?』

岡田 晴恵 / 著
 岩崎書店

なぜ感染症は広まるのか? マラリアから新型コロナウイルスまで、人類が戦ってきた感染症の歴史とこれから必要な対策を、図やイラストをふんだんに使い解説。



イベント情報

●岩手県復興ポスター展

今年は東日本大震災から10年目。震災の風化防止や被災地の継続支援を目的として、県が作成した復興関連ポスターを展示しています。

■とき…3月18日(木)まで

■ところ…中央図書館視聴覚室

※新型コロナウイルス感染症対策のため、急きょ中止することがあります。ご了承ください。

お知らせ

3月14日(日)は、施設管理作業のため和賀図書館を臨時休館します。本の返却は、ブックポストまたは中央図書館、江釣子図書館をご利用ください。



新着本

大人向け	いとまの雪(上・下)	伊集院 静
	彼女のスマホが繋がらない	志駕 晃
	ある日、うちの子が学校に行かなくなったら	鈴木 あや
	失敗から生まれた極うまスイーツ	げんきスイーツ
	「はやぶさ2」が舞い降りた日々	的川 泰宣
	サトウハチロー詩集	サトウ ハチロー

子ども向け	グレッグのダメ日記	なんとかなるさ	ジェフ・キニー
	妖怪の子預かります10		廣嶋 玲子
	ルラルさんのつりざお		いとう ひろし
	こども統計学		バウンド
	5回で折れるかざれる! あそべる! おりがみ2		いしかわ まりこ
	胸キュン恋するいきもの図鑑		今泉 忠明

共同参画 オンエア～ みんな違ってみんないい /

意思決定に必要な視点とは?

地域づくり課 ☎72-8299

✉chiiki@city.kitakami.iwate.jp

一般的に、公共分野の意思決定には多様な人が参画することが望ましいといわれています。それは、さまざまな人の価値観を反映することが民主的発展をもたらすためです。

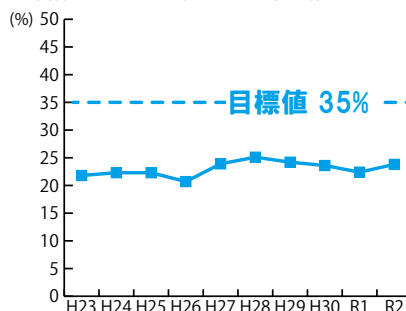
その多様性の一つが「性別」です。男女の人口はどの地域でもおよそ半々であるにもかかわらず、多くの意思決定に女性が参画できていないことが課題となっています。国では2020年までに社会のあらゆる分野の指導的地位にある女性が占める割合を30%以上にするを目標とし、スローガンとして「202030」を掲げています。

当市では、審議会などの女性委員比率を令和2年度までに35%にする目標を掲げましたが、達成されていません。理由としては、充て職で決められている役職があることや、多くの団体の役職を男性が担っていることが挙げられます。

一方で、保健分野の委員は90%以上が女性であるなど、性別による役割分担の意識が根付いていることがわかります。

職場、地域、学校などあなたの周りで物事を決めているのはどのような人たちでしょうか? 意思決定に性別や年代

■審議会などの女性委員比率の推移



などの多様性という視点を加えてみてはいかがでしょうか。

※審議会など…各分野について調べたり話し合うために設置されたものとしています(情報共有などを目的とした機関除く)。

まちの話題

市内の話題を紹介

北上駅東口の土地活用プロジェクト第1弾 さくらPORT・パーキングがオープン

2/10

北上駅東口駐車場土地活用事業の第1弾として、453台駐車可能な立体駐車場「さくらPORT・パーキング」が営業を開始し、敷地内で式典が行われました。

隣接する桜の名所展勝地と舟運の港を由来とし、この一帯を「さくらPORT・TOWN」と命名。令和4年6月ころまでに賃貸マンション、ホテル、賃貸オフィスの建設を予定しています。事業を進める北上駅東口都市開発(株)の西尾高登代表取締役社長は「このプロジェクトで多様なまちづくりを支えたい」と話しました。



ひきこもりを知らう！当事者が本音を語る トークイベント「ひきこもり大解剖」

2/14

ひきこもり大解剖(笑いのたねプロジェクト主催)は、KITAKAMI 02(株)小田島組本社で開催されました。

当事者としての経験を生かして支援活動を行う、生きづらさインクルーシブデザイン工房の大橋史信代表理事と、KHJ青森さくらの会の下山洋雄代表が登場。「必要なのは傾聴。家族が変われば本人が変わる」とアドバイスしました。参加した津嶋勇士さん(46歳・常盤台)は「貴重な機会。自分も皆さんも当事者への接し方が変わるのでは」と新たな発見を得ていました。

地域産業発展 20年の歩み

2/5

K.N.Fが記念誌を刊行

当市の企業など99会員で構成される北上ネットワーク・フォーラム(K.N.F)は、昨年に設立20周年を迎え、記念誌を刊行しました。

異業種交流による新規事業の創出や工場見学会などの活動を紹介するほか、市の産業発展の過程も網羅。小原学代表は「今後も、ものづくりを盛り上げたい」と語りました。同誌はK.N.Fのホームページからご覧になれます。



祝・100歳✿

千田 タミさん(相去町)

千田さんは大正10年2月5日、相去町生まれ。青年学校を卒業後、滋賀県で絹糸の製造に2年ほど従事しました。帰郷してから、趣味の読書を通じて故一夫さんと出会い22歳で結婚。子3人、孫4人、ひ孫7人に恵まれています。

現在は、隣に住むひ孫たちに囲まれて楽しく暮らしています。100歳を迎え「戦時中は大変だった。今が一番幸せ」と話していました。



2/5

大舞台での活躍を誓う

黒北小合唱部が全国大会へ

2/12

第14回声楽アンサンブルコンテスト全国大会(3月18~21日・福島市)に出場する黒沢尻北小合唱部の児童らは、高橋市長と平野教育長を表敬訪問しました。

1月の県大会(WEB開催)では、出場した同部の3チーム全てが金賞を受賞。全国大会に向けて小山穂乃香部長(6年)は「ホールの感覚を楽しみながら最高の演奏ができれば」と意気込みを語りました。

